

灯油配送合理化促進支援事業

平成26年度補正予算額 **30.0億円**

事業の内容

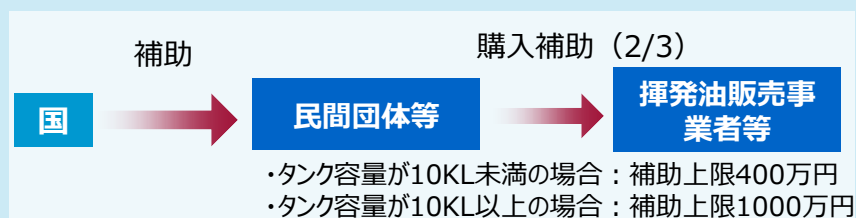
事業目的・概要

- 灯油は暖房用・給湯用燃料として国民の生活にとって必要不可欠な物資の一つです。
- しかし、過疎地域においては、経営悪化によって、灯油配送を担ってきた地場サービスステーション（SS）の廃業が進むなど、供給側の問題から灯油の安定供給に支障をきたす地域が存在しています。
- また、豪雪・災害時には、老朽化したローリーの多くが稼動不能となり、灯油の供給不安が生じました。
- こうした問題に対応し、地域における灯油の安定供給を確保するため、過疎地・豪雪地においてSSを経営している事業者が行う灯油配送の合理化（老朽化した小型ローリーの大型化、配送用ローリーの共同所有、共同配送システムの導入等）を促進する取組を支援します。

成果目標

- 過疎地や豪雪地における約700箇所以上の拠点で灯油配送の合理化を促進する取組を支援することにより、灯油の安定供給を図ります。

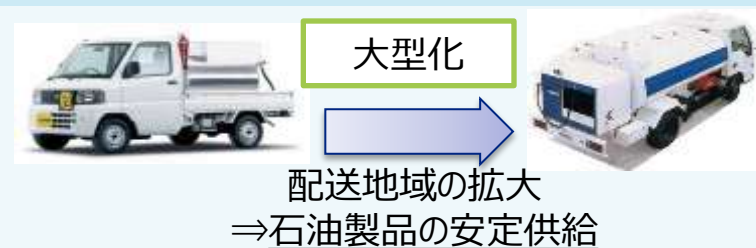
条件（対象者、対象行為、補助率等）



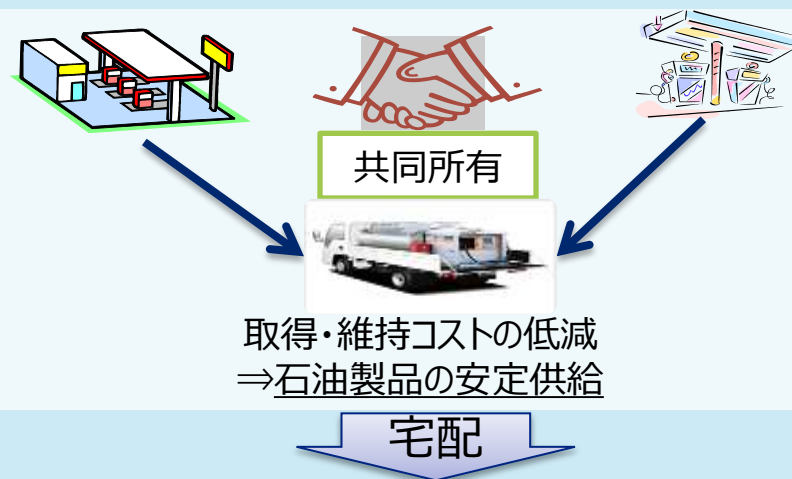
事業イメージ

事業目的・概要

事業例①：配送料の拡大による合理化



事業例②：共同所有による合理化



過疎地・豪雪地における確実な灯油配送を実現